

## 2.2.1 TR

### 2.2.1A〔形式〕

TR	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) タイトル及び責任表示に関する事項	必須 1	可変長		1
タイトル、責任表示		(可変長)	(1024 バイト)	(1)
本タイトル	(必須 1)			(無*)
タイトル関連情報	(必須 2)			(有)
並列タイトル	(必須 2)			(有)
並列タイトル関連情報	(選択)			(有)
責任表示	(必須 2)			(有)
並列責任表示	(選択)			(有)
タイトルのヨミ**		(可変長)	(1024 バイト)	(1)
本タイトルのヨミ	(必須 2)			(無*)
タイトル関連情報のヨミ	(必須 2)			(有)
並列タイトルのヨミ	(必須 2)			(有)
並列タイトル関連情報のヨミ	(選択)			(有)
タイトルのその他のヨミ**	(選択)	(可変長)	(1024 バイト)	(2)

\*総合タイトルがない場合、個々の著作タイトルを繰り返して記録する。

\*\*タイトルのヨミは、和資料および洋資料でタイトル中に日本語が現れた場合などに記録する。

### 2.2.1B〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.1 図書書誌データの記述文法」を参照のこと。

### 2.2.1C〔区切り記号〕

ア) 区切り記号の前後にスペースを置く。

イ) 各並列タイトルの前にはスペース、イコール、スペース(△ = △)を置く。

ウ) 総合タイトルがない場合の、責任表示の異なる 2 番目以降の個々のタイトルの前にはスペース、ピリオド、スペース (△ . △) を置く。

エ) 総合タイトルがない場合の、責任表示が同一な 2 番目以降の個々のタイトルの前には、それぞれスペース、セミコロン、スペース(;)を置く。

オ) タイトル関連情報の前には、各情報ごとにスペース、コロン、スペース(△ : △)を置く。

- カ) 最初の責任表示の前には、スペース、スラッシュ、スペース (△ / △) を置く。
- キ) 2番目以降の各責任表示の前には、スペース、セミコロン、スペース (△ ; △) を置く。
- ク) タイトルのヨミを記録する場合は、ヨミの直前に、ストローク、ストローク (||) を置く。

### 2.2.1D [フィールド内容とデータ要素]

TR フィールドには、目録対象資料の本タイトル、タイトル関連情報、責任表示、及び、必要に応じて、タイトル(本タイトルとタイトル関連情報を含む)のヨミ及びその他のヨミをフィールド中のデータ要素として記録する。

ただし、タイトルのその他のヨミについては、本項では取り扱わない。関連する各コーディングマニュアル等を参照のこと。

それぞれの書誌要素に対応する並列書誌要素は単数ないしは複数存在することがある。

タイトル関連情報は単数ないしは複数存在することがある。

責任表示は単数ないしは複数存在することがある。

### 2.2.1E [データ要素の情報源]

#### E1 (本タイトルの情報源)

本タイトルの情報源は、タイトル・ページとする。規定の情報源以外から得た情報は、角括弧([ ])に入れて補記する。

規定の情報源中に別の形のタイトルが表示されているときは、それに適切なコードを付けて、VT フィールドに記録する。

また、古刊本、古写本等の場合は、NCR2018 #2.0.2.2.1.2C 初期印刷資料（和古書・漢籍を除く）#2.0.2.2.1.3 和古書・漢籍の規定による。

#### E1.1 (タイトル・ページ以外を優先情報源とする和図書等)

和資料については、タイトル・ページがあっても、その情報が不十分な場合は、次の優先順位で優先情報源を選定することができる。この場合は、必要に応じてタイトル・ページ以外のものを情報源とした旨を、注記として記録する。

- a) 奥付
- b) 背・表紙
- c) キャプション
- d) ジャケット

#### E1.2 (タイトル・ページ以外を優先情報源とする洋図書等)

洋資料については、タイトル・ページ、タイトル・シート、タイトル・カードがない場

合は、次の優先順位で優先情報源を選定する。

- a) 背・表紙
- b) キャプション
- c) マストヘッド
- d) 奥付
- e) ジャケット

### **E1.3 (タイトル・ページ等がない資料の優先情報源)**

資料にタイトル・ページ、タイトル・シート、タイトル・カード（またはその画像）がない場合は、タイトル・ページの代替として利用できるものを、以下の優先順位に従って、優先情報源として選定する。

この場合、その情報源を NOTE フィールドに注記する。(→ 2.2.7 NOTE)

- a) 奥付
- b) 背・表紙
- c) キャプション
- d) マストヘッド
- e) ジャケット

ただし、洋図書等（日本国内刊行を除く）、初期印刷資料（和古書・漢籍を除く）については、NCR2018 #2.0.2.2.1.2A～#2.0.2.2.1.2C に従って優先情報源を選定する。

### **E2 (並列タイトルの情報源)**

並列タイトルについては、本タイトルと同一の個所に表示されていなくてはならない。例えば、標題紙には本タイトルのみで、並列タイトルの表示がなく、表紙にのみ、本タイトルと並列タイトルがあるような場合は、(並列タイトルの存在の有無を理由に表紙を主たる情報源として記録するのではなく)表紙上に表示された並列タイトルは表紙タイトルとして VT フィールドに記録する。

本タイトルを資料外の情報源から採用した場合は、並列タイトルも同一の情報源から採用する。

### **E3 (責任表示の情報源)**

責任表示は、本タイトルと同一の情報源から優先して採用する。

### **E4 (並列責任表示の情報源)**

並列責任表示は、対応する並列タイトルと同一の情報源から採用する。対応する並列タイトルが存在しない場合は、対応する本タイトルと同一の情報源から採用する。

## 2.2.1F〔データ記入及び記入例〕

### F1 (本タイトル)

本タイトルとなるものは、「目録情報の基準 第6版」で規定されている「固有のタイトル」である。

#### F1.1 (データ記入の原則)

タイトルの上部や前方に表示されている語句が、本タイトルの一部とも、タイトル関連情報や責任表示等、他の書誌的事項とも判断できるような場合、次に示すような観点で本タイトルであるかどうかを決定する。

なお、本タイトルとしなかった形のタイトルについては、それらを VT フィールドに記録することが望ましい。

ア) 字体や字の大きさ、印刷上の強調の程度などといったレイアウトや表現のしかたから、それが本タイトル的一部分と判断できる場合は、その語句を含めたタイトルを本タイトルとする。本タイトルの一部としない語句については、該当する書誌要素を記録する個所に記録する。

TR:岩手県立病院医学会創立 25 周年記念業績集 / 岩手県立病院医学会学会委員会・編集委員会編||イワテ ケンリツ ビョウイン イガツカイ ソウリツ 25 シュウネン キネン ギョウセキシユウ

PUB:盛岡 : 岩手県立病院医学会 , 1994.3

VT:VT:創立 25 周年記念業績集||ソウリツ 25 シュウネン キネン ギョウセキシユウ

TR:図書館サービスの評価 / ランカスター [著] ; 中村倫子, 三輪眞木子共訳||トショカン サービス ノ ヒョウカ

VT:VT:ランカスター図書館サービスの評価||ランカスター トショカン サービス ノ ヒョウカ

TR:名医のわかりやすいストレス・心身症 / 河野友信著||メイイ ノ ワカリヤスイ ストレス・シンシンショウ

VT:VT:ストレス・心身症 : 名医のわかりやすい||ストレス・シンシンショウ : メイイ ノ ワカリヤスイ

イ) 前項で示したようなレイアウトや表現のしかただけでは判断に迷うような場合は、タイトルの上部や前方に表示されている語句が次に示すような役割を果たす語句であり、それを本タイトルの一部として扱うことが望ましいと思われる場合は、その語句を含めたタイトルを本タイトルとする。

(1) 時代、年代、地域等を特定あるいは限定するための語句

(2) 内容の程度や効用を表したり、限定するための語句

(ただし、販売目的のキャッチコピー的な語句については、原則としてタイトル関連情報と判断する)

(3) 書名であることを明らかにするための語句

(4) 特殊性、性質、特質を表す語句

(5) 本タイトルが総称的なため、他との識別のために付された著者や出版者等の語句(ただし、それらの語句は、該当するエレメントを記録する個所にもできるだけ改めて記録する)

TR:関西国際空港埋立造成工事誌 / 空港島建設工事誌作成委員会編||カンサイ コクサイ  
クウコウ ウメタテ ゾウセイ コウジシ

TR:但馬ふるや:歴史と風俗 / 千葉保著||タジマ フルヤ:レキシト フウゾク

TR:イラストで知る危険物の基礎物理化学 / 広沢金三著||イラスト デシル キケンブツ ノ  
キノ ブツリ カガク

TR:マンガ民法入門 / 山之内三紀子原作 ; すすき清志漫画 ; 大蔵省印刷局編||マンガ ミン  
ポウ ニュウモン

TR:小説クレオパトラ : 最後の女王 / 三枝和子著||ショウセツ クレオパトラ : サイゴ ノ  
ジョオウ

TR:一般外来診療のためのうつ状態の漢方治療 / 松橋俊夫編||イッパン ガイライ シンリ  
ョウ ノ タメ ノ ウツ ジョウタイ ノ カンポウ チリョウ

TR:アルバーティ物理化学 / F. Daniels, R.A. Alberty 著 ; 黒田晴雄, 妹尾学訳||アルバーテ  
ィ ブツリ カガク

TR:新編大言海 / 大槻文彦著||シンペン ダイゲンカイ

TR:岩波国語辞典 / 西尾実, 岩淵悦太郎共編||イワナミ コクゴジテン

## F1.2 (タイトルの省略)

本タイトルが長い場合でも、システム上の不都合(フィールド長不足等)が生じない限りは、原則として本タイトルの短縮は行わない。やむを得ず短縮を行う場合は、その部分を省略符号(…)で示し、短縮した内容を NOTE フィールドに記録する。

## F1.3 (異形タイトル)

複数の情報源でタイトルが異なっている場合、TR フィールドに記録しなかったタイトルについては、それを該当するコードを付して VT フィールドに記録する。

TR:漱石の迷走と救い / 奥山実著||ソウセキノメイソウトスクイ

VT:CL:漱石の迷走と福音||ソウセキノメイソウトフクイン

TR:学校図書館の読書指導と利用指導：新しい学力の考えに立つ / 中川昭則編著||ガッコウ トショカン ノ ドクショ シドウ ト リヨウ シドウ : アタラシイ ガクリョク ノ カンガエ ニ タツ

VT:CL:学校図書館の利用指導と読書指導：新しい学力の考えに立つ||ガッコウ トショカン ノ リヨウ シドウ ト ドクショ シドウ : アタラシイ ガクリョク ノ カンガエ ニ タツ

#### F1.4 (その他の情報源の記録)

優先情報源以外から本タイトルを補記する場合は、その情報源又は参考資料等についての注記を NOTE フィールドに必ず記録する。

TR:[Banquet des travailleurs socialistes] compte-rendu

NOTE:Title given according to the Catalogue de l'histoire de France. IV. 160

#### F1.5 (部編、補遺等のタイトル)

ある資料の一部分や補遺であることを示す表示については、「目録情報の基準 第6版」で規定されている図書書誌データの作成単位によって判断する。(→「目録情報の基準 第6版」4.2.2)

そのような資料であることを示す表示が、「巻次等」あるいは「部編名」である場合は、その本体に相当する書誌データの VOL フィールドにそれを記録する。(→2.1.11 VOL)

VOL:pt. 1

TR:Faust / Johann Wolfgang Goethe

#### F1.6 (総合タイトルと個別のタイトル)

複数の著作を収録した合集等について、所定の情報源に総合タイトルと単数ないしは複数の個別のタイトルとの双方が表示されている場合、次のように扱う。

ア) 1冊だけから成る資料の場合

総合タイトルを TR フィールドに記録し、個別のタイトルは CW フィールドに記録する。

TR:Œuvres de Dante Alighieri

CW:La divine comédie / traduction de A. Brizeux

CW:La vie nouvelle / traduction de E.-J. Delécluze

イ) 分冊刊行された(複数の出版物理単位から成る)資料の場合

各冊に表示された個別のタイトルを TR フィールドに記録し、総合タイトルは PTBL フィールドに記録する。

TR:善悪の彼岸; 道徳の系譜 / フリードリッヒ・ニーチェ著; 信太正三訳||ゼンアクノヒガン; ドウトクノケイフ

PTBL:ちくま学芸文庫||チクマ ガクゲイ ブンコ < > . ニーチェ全集||ニーチェゼンシュウ; 11//ab

TR:Impacts on nutrition and health / volume editor, Artemis P. Simopoulos

PTBL:World review of nutrition and dietetics < > v. 65//a

### F1.7 (本タイトルの補記)

所定の情報源のどこにも本タイトルがないか、所定の情報源自体がない場合は、目録作成者の判断によって、資料の内容や種類などを表す簡潔な語句か本文の冒頭の一部分を用いて、本タイトルを補記する。このとき、補記した本タイトルが目録対象資料中にあればその箇所を、なければ目録作成者が決定したことを NOTE フィールドに記録する。

### F2 (タイトル関連情報)

タイトル関連情報は、本タイトルと同一の情報源上に表示された、本タイトル及び並列タイトル以外のタイトル、あるいは本タイトルに補完、限定説明を加える語句である。

#### F2.1 (データ記入の原則)

本タイトルを選択した個所にタイトル関連情報が複数存在する場合は、それらすべてを記録することができる。このとき、それぞれのタイトル関連情報はスペース、コロン、スペース(△:△)で区切り、情報源上に表示されている順序で記録する。

個々の情報源にそれぞれ異なるタイトル関連情報がある場合は、それらすべてを記録することができる。ただし、TR フィールドに記録することができるのは、本タイトルと同一個所に表示されているタイトル関連情報のみであり、それ以外の個所に表示されているタイトル関連情報は、それぞれ VT フィールドに記録する。

TR:新・飛ばしの科学: 力を入れずに飛距離がのびる / 増田正美著||シン・トバシノカガク: チカラオイレズニヒキョリガノビル

VT:CV:新・飛ばしの科学: 30 ヤード飛距離アップの新理論||シン・トバシノカガク: 30 ヤードヒキョリアップノシンリロン

#### F2.2 (タイトル関連情報の省略)

長いタイトル関連情報の一部ないし全部は、それを省略することができる。省略した場合には、NOTE フィールドに記録する。なお、省略の判断基準は、その部分から索引語を抽出すべきかどうかによる。

TR:オンラインデータベース活用事典 / 鈴木尚志, 田中康介著||オンライン データベース  
カツヨウ ジテン

NOTE:タイトル関連情報: どんな情報がどこにあるのか?アクセスするにはどうすればいいか?……が、すぐに引けてわかる本

### F3 (並列タイトル及び並列タイトル関連情報)

並列タイトル及び並列タイトル関連情報は、本タイトル及びタイトル関連情報として選定されたタイトルに対応して、そのタイトルの別言語及び(又は)別の文字で所定の情報源中に表示され、本タイトルと同等の意味を持っているものである。そのうち、本タイトル等と同一個所に表示されているもののみを並列タイトルとして TR フィールドに記録することができる。

本タイトルと同等の意味内容のものであっても、本タイトル採録個所以外に表示されている場合は並列タイトルとはせず、VT フィールドに記録する。

#### F3.1 (データ記入の原則)

洋資料について、並列タイトルおよび並列タイトル関連情報を複数記録する場合は、日本語を優先する。すなわち、最初の並列タイトルを記録した後に、2 番目以降の日本語で書かれた並列タイトルがあるときには、それも記録する。

本タイトルと並列タイトルは、スペース、等号、スペース (△=△) で区切って記録する。

TR:Poupées japonaises = Dolls of Japan = 日本人形||Poupées japonaises = Dolls of Japan  
= ニホン ニンギョウ

なお、参照データセットからの流用入力によってデータを作成する場合に、2 番目以降の英語で書かれた並列タイトルが記載されていても、それを削除する必要はない。日本語の並列タイトルはこの前に挿入して記録する。

#### F3.2 (原書のタイトル)

本タイトルと同等の意味内容のものであっても、目録対象資料が翻訳書で、その原書名であることが明らかな場合は、並列タイトルとはせず、VT フィールドに原書名コード OR を付して記録する。

TR:水の世界:地球・人間・象徴体系 / アンヌ・ドゥクロス著;近藤真理訳||ミズ ノ セカイ:  
チキユウ・ニンゲン・ショウチョウ タイケイ

VT:OR:Toute l'eau du monde



### F3.3 (優先情報源以外の並列タイトル)

優先主情報源以外の個所に表示されている並列タイトルは、表示されていた箇所を示すコードを付してVTフィールドに記録する。

### F3.4 (並列タイトルのヨミ)

並列タイトルに日本語のタイトルが含まれている場合は、その語句のヨミによる検索が可能となるように、そのヨミをタイトルのヨミ、タイトル関連情報のヨミに関する規定に従って記録する。(→ 2.2.1 F5)

## F4 (責任表示)

資料の知的・芸術的内容の創作または実現に、責任を有するか寄与した個人・家族・団体に関する表示を、責任表示として記録する。

### F4.1 (データ記入の原則)

責任表示とするものの範囲については、NCR2018#2.2.0.1 (記録の範囲)の規定に従う。ただし、所定の情報源上にある監修者、監訳者等については、著者、訳者など、より直接的に関与した責任表示がある場合は、それを責任表示とし、監修者、監訳者等はNOTEフィールドに記録する。より直接的に関与した責任表示がない場合には、監修者、監訳者等を責任表示として記録する。

TR:実践フレームリレー / 野村雅行, 辻村司共著||ジッセン フレーム リレー

NOTE:監修: 宮脇陸

### F4.2 (責任表示の補記)

所定の情報源上に責任表示に相当する表示がないとき、資料本体中のいずれかの場所があれば、それを補記する。資料本体中にもなく、資料以外の何らかの情報源から得られた場合は、その情報はNOTEフィールドに記録する。

### F4.3 (複数の責任表示)

同一の役割の責任表示が複数ある場合の記述は、それぞれをコンマ、スペース(,)で区切って記録する。

同一の役割の責任表示として記録することができる個人名や団体名の数については、その数が3までのときは、そのまま記録する。4以上の場合には、主たる名称、あるいは最初に表示されている名称一つだけを記録し、その他の名称については、和資料は[ほか]の語を、洋資料は[and 10 others]等の語句を補記することにより、省略することができる。また、省略された責任表示はNOTEフィールドに記録することができる。

TR:十五年戦争と満鉄調査部 / 石堂清倫 [ほか] 著||ジュウゴネン センソウ ト マンテツ  
チョウサブ

NOTE:その他の著者: 野間清, 野々村一雄, 小林庄一

TR:Global sport management education : policy, curriculum and implementation / Mike  
Rayner [and three others]

NOTE:Other authors: Tom Webb, Ruth Sibson, Jacob K. Tingle

#### F4.4 (役割の異なる責任表示)

役割の異なる責任表示が複数ある場合の記録の順序は、役割が異なるごとにスペース、  
セミコロン、スペース(△;△)で区切って記録する。

TR:新約聖書と批評学 / ジョージ・エルドン・ラッド著 ; 榊原康夫, 吉田隆共訳||シンヤ  
クセイショトヒヒョウガク

#### F4.5 (複数の言語・文字種による責任表示)

並列タイトルがなく、責任表示が 2 以上の言語や文字で表示されている場合は、本タイ  
トルと同じ言語や文字による表示を転記する。この基準を適用できない場合は、最初に書  
かれている表示を転記する。

任意に、各並列責任表示を、それぞれスペース、イコール、スペース、スラッシュ、ス  
ペース(△=△/△)に続けて転記してもよい。

TR:Biblioteca Celtica : a register of publications relating to Wales and the Celtic peoples  
and languages / Llyfrgell Genedlaethol Cymru = / The National Library of Wales

#### F4.6 (責任表示における肩書等の省略)

責任表示における肩書などの省略は、個人名だけでなく責任表示一般に適用する。

貴族の称号、敬称、尊称、区別的呼称を示す肩書とそれらの略語、団体のイニシアル、  
資格、設立の日付、標語などは、以下の場合には責任表示に収録する。

a) 文法的にこのようなデータが必要なとき

... / ... ; prólogo del Excmo. Sr. D. Manuel Fraga Iribarne

b) 省略すると、名(given name)または姓だけになるとき。

... / by Miss Jane

... / by Dr. Johnson

c) 識別のために敬称などが必要なとき

... / by Mrs. Charles H. Gibson

d) 称号が貴族の称号であるか、または英国の尊称(Sir, Dame, Lord, または Lady)であるとき。

それ以外の場合、これらのデータはすべて責任表示から省略する。省略符号は使用しない。

... / by Harry Smith

(情報源では次のようになっている: by Dr. Harry Smith)

... / sponsored by the Library Association

(情報源では次のようになっている: sponsored by the Library Association (founded 1877) ...

/ by T. A. Rennard

(情報源では次のようになっている: by the late T.A. Rennard)

#### F4.7 (総合タイトルのない資料)

総合タイトルのない資料の場合、記述対象全体に共通する責任表示は、すべてのタイトル、タイトル関連情報などに対応していることが分かるように記録する。

TR: にごりえ ; たけくらべ / 樋口一葉著

責任表示が個別のタイトルに関係している場合は、対応するタイトルとタイトル関連情報が分かるように記録する。

TR: 土佐日記 / 紀貫之著 ; 池田弥三郎訳 . 蜻蛉日記 / 藤原道綱母著 ; 室生犀星訳

TR: Henry Vincent, a biographical sketch / William Dorling . Life of Joseph Rayner Stephens / George Jacob Holyoake

責任表示が個別のタイトルに関係していて、かつ個別のタイトル全体に共通する責任表示もある場合は、それぞれの関係が分かるように責任表示を記録する。

#### F5(タイトルのヨミ、タイトル関連情報のヨミ)

##### F5.1

タイトルやタイトル関連情報(並列タイトル及び並列タイトル関連情報を含む)のヨミは、それに対応する読み方を記録する。

ヨミの表記方法については、「目録情報の基準 第6版」の11.3(ヨミの表記及び分かち書き規則)による。

##### F5.2 (複数のヨミ)

一つの語句に複数の読み方がある場合、より一般的と判断される方を採用し、他方はVTフィールドに記録する。

### **F5.3 (慣例のヨミ)**

慣用の読み方があるものは、その慣用に従う。また、地名、人名等は、その固有の読み方を採用する。

### **4.2.1H 《注意事項》**

#### **H1 (大文字使用法)**

本タイトルの初語が冠詞である場合の次の語の頭文字の取扱いについては、NCR2018 付録 A.2 の大文字使用法に沿って記録する。

### **2.2.1G 《注意事項》**

例外として、マイクロ資料や和洋の古典籍等、1 書誌データに複数の出版物理単位を記述することが許容されている資料がある。この場合、データ要素の情報源は、該当する目録対象資料の最初に刊行された資料(又は入手可能なもののうちの最初に刊行された資料)の所定の情報源による。

## 2.2.2 ED

### 2.2.2A〔形式〕

ED	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) 版表示に関する事項	必須 2	可変長	512 バイト	1
版次	(必須 1)			(無)
版に関する責任表示	(必須 2)			(有)
並列版次	(選択)			(有)
版に関する並列責任表示	(選択)			(有)
付加的版次	(必須 2)			(有)
付加的版に関する責任表示	(選択)			(有)

### 2.2.2B〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.1 図書書誌データの記述文法」を参照のこと。

### 2.2.2C〔区切り記号〕

ア) (最初の)版に関する責任表示・版に関する並列責任表示・付加的版に関する責任表示の直前に、スペース、スラッシュ、スペース ( $\Delta/\Delta$ ) を置く。

ただし、版に関する並列責任表示について、責任表示のみが並列する場合に限り、直前に、スペース、イコール、スペース、スラッシュ、スペース ( $\Delta=\Delta/\Delta$ ) を置く。

イ) 2 番目以降の各責任表示の直前に、スペース、セミコロン、スペース ( $\Delta;\Delta$ ) を置く。

ウ) 並列版次の直前に、スペース、イコール、スペース ( $\Delta=\Delta$ ) を置く。

エ) 付加的版次の直前に、コンマ、スペース ( $,\Delta$ ) を置く。

### 2.2.2D〔フィールド内容及びデータ要素〕

ED フィールドには、目録対象資料の版次、版に関する責任表示、並列版次、版に関する並列責任表示、付加的版次、及び付加的版に関する責任表示をデータ要素として記録する。

版次は、当該資料がどのような版であることを示すために記録する。ただし、装丁の相違のみを表す語句はこれに含めない。

版に関する責任表示とは、当該資料の 1 種類以上の版に対しては関係しているが、すべての版に対しては関係していないような責任表示をいう。

並列版次とは、版次が 2 以上の言語又は 2 種類以上の文字で表示されている場合をいう。

付加的版次とは、ある特定の版に対して変更が加えられ、再発行されたような場合に、

その版に付加される版次をいう。

### 2.2.2E〔データ要素の情報源〕

ED フィールドのデータ要素の情報源は、次の優先順位で情報源を選定する。

- a) 本タイトルと同一の情報源 (→2.2.1E)
- b) 資料自体の他の情報源
- c) 資料外の情報源

ただし、並列版次・付加的版次については版次と同一の情報源を、各種責任表示については対応する版次と同一の情報源を、それぞれ第一の情報源として選定する。

版に関係する並列責任表示について、対応する並列版次が存在しない場合は、版次と同一の情報源から採用する。

### 2.2.2F〔データ記入及び記入例〕

#### F1 データ記入の原則

##### F1.1

漢数字、ローマ数字、語句で表記される数字等は、アラビア数字で記録する。

ED:第2版

(情報源の表示: 第二版)

ED:New ed

(情報源の表示: New ed.)

ED:2nd edition

(情報源の表示: Second edition)

#### F2 版次および版に関する責任表示

##### F2.1 (版次とするもの)

版次は、記述対象が属する版を示す語、数字またはこれらの組み合わせである。

版次には、通常、次の語、数字またはこれらの組み合わせが該当する。内容の変更を伴わない刷次と判断される場合は、版次として扱わない。

ア) 日本語

序数と「版」、または他の版との内容の相違を示す「改訂」、「増補」、「新版」などの語を含むもの。

ED:改訂版

ED:増補3版

イ) 外国語

「edition」、「issue」、「release」、「level」、「state」、「update」またはそれに相当する他の言語による語を含むもの。省略形の場合も含む。

ED:2. Ausgabe

ED:Ver. 2.5

ウ) 内容の変更による相違

ED:データ更新版

ED:Full version

内容の変更を伴う刷次は、版次として扱う。

ED:第2刷補訂

なお、特定の版に属する刷次の表示中に、改訂、増補などに相当する語がある場合は、これを付加的版次として扱う。

エ) 言語の相違

ED:中文版

ED:English ed

オ) 内容と結びつく日付の相違

## F2.2

次の版次は記録しない。

ア) 初版

イ) 総合タイトルのない資料の個別の著作に関する版次

## F2.3

情報源に数字および（または）文字のみが表示されている場合は、版であることが分かるように適切な語句を補記する。この場合、資料外から採用したことが分かるように角括弧を使用して記録する。

ED:2011 [版]

ED:Revised [edition]

## F2.4

版次などの全体または一部が資料自体に表示されていなくても、他の版と重要な違いがあると知られていて、それが識別またはアクセスに重要な場合は、版表示として記録する。この場合、資料外から採用したことが分かるように角括弧を使用して記録し、必要に応じて注記する。

版表示を優先情報源として選択可能な箇所以外から採用した場合についても、同様に角括弧を使用して記録する。

ED:[改訂版]

ED:[1991] 増補新版

ED:[2011 年版]

## F2.5

情報源中に複数の版次が表示されている場合、適切なもののうち、より顕著に表示されている方を採用する。

複数の版次が表示されている場合として、例えば次のようなものがある。

ア) 「改訂増補版」という版次と「第 3 版」という版次が、情報源に双方ともに表示されている。

イ) 「Philippine edition」という版次と「Paperback edition」という版次が、情報源に双方ともに表示されている。

採用しなかったものは、必要に応じて NOTE フィールドに記録する。

また、優先情報源として選定した箇所以外に、ED フィールドに記録したものと異なる版次が表示されている場合は、必要に応じて NOTE フィールドに記録することができる。

例) 「第」という表示が付いていたりいなかったりする。

## F2.6

内容の変更等を意味する版次でない場合でも、書誌的に特定の版を識別する版次(ただし、装丁に関するものは除く)は、ED フィールドに記録する。

例えば、次のようなものがある。

普及版、机上版、学生版、必携版、愛用版、愛蔵版、保存版、限定版、復刻版、私家版、贈呈版、簡約版、縮刷版、ワイド版、コンパクト版、謄写版

TR:日本外来語辞典 / 上田万年 [ほか] 共編||ニホン ガイライゴジテン

ED:復刻版

## F2.7

情報源に、版次が複数の言語または文字種で表示されている場合は、本タイトルと同一の言語または文字種によるものを記録する。本タイトルと同一の言語または文字種による表示がない場合は、最初に表示されているものを記録する。



## F2.8 (版に関係する責任表示)

版に関係する責任表示は、責任表示のうちの特定の版に関係する表示である。

その版のみに関わる、あるいは他の版にも関わるが全ての版には関わらない責任表示は、版次に続けて記録する。

同じ役割の版に関係する責任表示を列記する場合は、コンマ、スペース (,)、スペース (△) でつないで記録し、役割の異なる版に関係する責任表示を列記する場合は、スペース、セミコロン、スペース (△;)、スペース (△;△) でつないで記録する。

情報源に、版に関係する責任表示が複数の言語または文字種で表示されている場合は、本タイトルと同一の言語または文字種によるものを記録する。本タイトルと同一の言語または文字種による表示がない場合は、最初に表示されているものを記録する。

責任表示が、すべての版に関係しているか、一部の版にのみ関係しているか判断できない場合、または版次の有無が判明しない場合は、本タイトルに関係する責任表示として扱う。

また、記述対象が初版である場合は、すべての責任表示を本タイトルに関係する責任表示として扱う。

## F3 並列版次および版に関係する並列責任表示

### F3.1 (版次が 2 種以上の言語又は文字で表示されている場合)

本タイトルと同一の言語または文字種による版次を記録した後 (→F2.7)、スペース、イコール、スペース (△=△) に続けて、並列版次を情報源での表示順序、配置、デザイン等に基づいた順に記録する。

ED:2nd edition = 2. Auflage

(情報源の表示: Second edition、Zweite Auflage)

### F3.2 (版次が 2 種以上の言語又は文字で表示されているが、版に関係する責任表示が 1 種の言語又は文字でのみ表示されている場合)

すべての並列版次を記録した後に、スペース、スラッシュ、スペース (△/△) に続けて、版に関係する責任表示を記録する。

ED:3rd edition = 3. upplagan / B. Larsen

(情報源の表示: Third edition、Tredje upplagan)

### F3.3 (版次、版に関係する責任表示がともに 2 種以上の言語又は文字で表示されている場合)

それぞれの言語又は文字ごとに、版次に続けて、その版次と同一の言語又は文字で表示されている責任表示を記録する。

ED:2nd edition / edited by Larry Lewis = 2. Auflage / herausgegeben von Larry Lewis  
(情報源の表示：2nd edition, 2. Auflage)

版に関係する並列責任表示が複数ある場合は、対応する並列版次と同じ順に記録する。

#### F3.4 (版次は 1 種の言語又は文字で表示されているが、版に関係する責任表示は 2 種以上の言語又は文字で表示されている場合)

本タイトルと同一の言語又は文字で表示されている責任表示を記録する。この規定があてはまらない場合は、最初に表示されている責任表示を記録する。

ED:2. oplag / reviderade og udvidet af David Hohnen  
(情報源の表示：Andet oplag)

また、版次と版に関係する責任表示の後に、スペース、イコール、スペース、スラッシュ、スペース(△=△/△)に続けて、情報源に表示されている順に、版に関係する並列責任表示を記録することができる。

ED:2. oplag / reviderade og udvidet af David Hohnen = / revised and enlarged by David Hohnen

#### F4 付加的版次および付加的版に関係する責任表示

##### F4.1 (ある特定の版に対して変更が加えられ、再発行されたような場合)

コンマ、スペース(,)、△)に続けてその改訂事項を記録する。

ED:第 5 版, 机上版  
ED:2nd edition, 3rd corrected impression  
(情報源の表示：2nd edition, 3rd corrected impression)

再発行されても従前の版から変更が加えられていない場合に、識別またはアクセスに重要でないときは、付加的版次として扱わない。

日本語で表示されている場合は、「改訂」、「増補」等の表示のある刷次をも含む。

##### F4.2 (版次だけでなく付加的版次も 2 種以上の言語又は文字で表示されている場合)

それを含めて並列版次として記録する。

ED:2nd edition, 3rd corrected impression = 2. Auflage, 3. korrigierter Neudruck  
(情報源の表示 : 2nd edition, 3rd corrected impression、2. Auflage, 3. korrigierter Neudruck)

**F4.3 (1 つ又はそれ以上の付加的版(ただし、すべての付加的版ではない)に関する責任表示)**

付加的版次に続けて記録する。

ED:Revised edition / with revisions, an introduction, and a chapter on writing by E.B. White, 2nd edition / with the assistance of Eleanor Gould Packard  
(情報源の表示 : Revised edition、2nd edition)

**F4.4 (付加的版次を伴う版次は 2 種以上の言語又は文字で表示されているが、版に関する責任表示は 1 種の言語又は文字のみで表示されている場合)**

すべての並列版次を記録した後に、スペース、スラッシュ、スペース(△/△)に続けて、版に関する責任表示を記録する。

ED:4th edition, corrected = 4. Auflage, korrigiert / G.A. Phelan  
(情報源の表示 : Fourth edition, corrected、Vierte Auflage, korrigiert)

**F4.5 (版次、付加的版次、版に関する責任表示がともに 2 種以上の言語又は文字で表示されている場合)**

それぞれの言語又は文字ごとに、版次に続けて、その版次と同一の言語又は文字で表示されている付加的版次及び版に関する責任表示を記録する。

ED:2nd edition, 3rd revision / by N. Schmidt = 2. upplagan, 3. utgåva / af N. Schmidt  
(情報源の表示 : Second edition, third revision、Andra upplagan, tredje utgåva)

付加的版に関する並列責任表示が複数ある場合は、対応する付加的並列版次と同じ順に記録する。

**2.2.2G 《注意事項》**

**G1**

規定の情報源上の表示を版次であると判断してよいかどうかは慎重に検討しなければならない。

既存の書誌データ(総合目録データベース中、参照データセット中を問わず)に記録されている情報(特に大きさ、ページ数等)と、これから登録しようとしている目録対象資料とで、データに不整合が見られないかどうかを判断する必要がある。

この結果、版次の表示があっても、それが単に「刷」を意味するようなものであるならば、その情報は ED フィールドに記録してはならない。

一方、「刷」と表示されていても、内容的に変更があったことが他の情報源、あるいは本文中等から容易に判明するならば、その「刷」の情報を ED フィールドに記録することができる。

その場合は、記録の根拠を NOTE フィールドに記録する。ただし、その他の情報により明らかかな場合は記録する必要はない。

## G2

逐次に刊行されるものの表示(「年版」など)は、版として記録せず、VOL フィールドに記録する。(→ 2.1.11 VOL)

## G3

装丁に関する版次は ED フィールドではなく、VOL フィールドに記録する。したがって、NCR2018 #2.3.1.1.1 g) の「新装版」「豪華版」は、ED フィールドではなく VOL フィールドに記録する。

この他に、次のような装丁に関する表示も、版次とはしない。

革装版、並装版、改装版、特装版、和装版

pbk. ed, Lib. bdg. ed.

## G4

複数の出版地を持つ 1 つの出版者の出版物に表示されている、American edition, International edition 等の表示についても、出版事項、形態に関する事項、ISBN その他の情報を考え合わせて、版次とみなすべきか、あるいは ISBN の説明語句等とみなして VOL フィールドに記録すべきかを判断する必要がある。

## G5

翻訳の底本の版表示は、記録してはならない。その情報は必要ならば、NOTE フィールドに記録する。

## G6

例外として、マイクロ資料や西洋古典籍等、1 書誌データに複数の出版物理単位を記述することが許容されている資料がある。(→2.0.3 出版物理単位) このような資料においては、版表示に変化、追加または削除が生じることがある。

版表示に対象範囲や主題が変わったことを示す変化がある場合は、別の資料とみなして  
体現形に対する新規の記述を作成する。

それ以外の場合、識別またはアクセスに重要なときは、巻号による版表示の違いを注記  
として記録する。

**〔関連項目〕**

0.4.1 新規データ作成の指針、図書書誌データ

2.1.11 VOL

2.2.1 TR

2.2.7 NOTE

## 2.2.3 PUB

### 2.2.3 A 〔形式〕

PUB	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) 出版等に関する事項	必須 1	可変長		4
出版地等*1	(必須 2*2)	(可変長)	(254 バイト)	(有*3)
出版者等*1	(必須 2*2)	(可変長)	(254 バイト)	(有*3)
出版日付等*1	(必須 2*2)	(可変長)	(254 バイト)	(有*3)
役割表示*4	(選択)	(固定長)	(1 バイト)	(有*3)

\*1 頒布地、製作地、制作地、頒布者、製作者、制作者、頒布日付、製作日付、制作日付を含む。

\*2 2 番目以降の出版、頒布、製作、制作にかかるエレメントの入力レベルは「選択」である。

\*3 出版地と出版者(あるいは頒布地と頒布者、製作地と製作者)との組合せが対になって一つの PUB フィールド内で複数回繰り返されることはない。

そのような場合は、PUB フィールド自体を 4 回まで繰り返すことができる。

\*4 出版表示にはコードを記入しない。頒布表示、製作表示、制作表示、著作権日付にはコードを記入する。(→付録 1.6 出版等に関するコード表)

### 2.2.3 B 〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.1 図書書誌データの記述文法」を参照のこと。

### 2.2.3C 〔区切り記号〕

ア) 2 番目以降の出版地・頒布地等の前にはスペース、セミコロン、スペース (△;△) を置く。

イ) 出版者、頒布者等の前にはスペース、コロン、スペース (△:△) を置く。

ウ) 出版日付・頒布日付等の前には、スペース、コンマ、スペース(△,△)を置く。

エ) 製作表示の区切り記号はア) からウ) に準拠する。

### 2.2.3D 〔フィールド内容とデータ要素〕

PUB フィールドでは、目録対象資料の出版表示、頒布表示、製作表示、制作表示および著作権日付を扱う。出版地・頒布地等、出版者・頒布者等、出版日付・頒布日付等をデータ要素として記録し、出版表示以外については、役割表示コードも記録する。

### 2.2.3E 〔データ要素の情報源〕

PUB フィールドのデータ要素の情報源は次の優先順位で情報源を選定する。

a) 本タイトルと同一の情報源 (2.2.1E)

b) 資料自体の他の情報源

c) 資料外の情報源

ただし、出版地、頒布地、製作地、制作地は、それぞれ出版者、頒布者、製作者、制作者と同一の情報源を第一の情報源として選定する。

包括的記述を作成する複数巻単行資料については、開始および（または）終了の日付を、最初および（または）最後に刊行された巻号から選択する。

### 2.2.3F〔データ記入及び記入例〕

#### F1 出版地、出版者等

##### F1.1

出版地、頒布地、製作地、制作地は、情報源に表示されている場所の名称（市町村名等）を、NCR2018 #1.10～#1.10.11 別法に従って記録する。

ただし、東京都特別区は、「東京」またはそれに相当する語のみ記録する。

ただし、市名は、「市」またはそれに相当する語を記録しない。

情報源に市町村名等とともに表示されている上位の地方自治体名等および（または）国名については、識別に必要なときに限り、それを付加する。

ただし、「日本」という国名は、原則として記録しない。

資料自体に表示がない場合に、識別またはアクセスに重要なときは、上位の地方自治体名等および（または）国名を角がっこ[]でくるんで補記する。

美郷町 [秋田県]

美郷町 [島根県]

府中 [東京都]

府中 [広島県]

##### F1.2

出版者・頒布者等は、それが関連する地名に続けて記録する。

##### F1.3

出版者等を識別するのに必要でない組織階層は省略する。

法人組織を示す語句は省略する。

単に出版や発売を示すだけでない語句は情報源に表示されている通りに記録する。

##### F1.4

出版地、出版者等が複数表示されている場合は、採用した情報源での表示順序、配置、デザイン等に基づいて判断した主なものを記録する。複数の出版者が存在して、それらが複数の出版地と結びついている場合は、それぞれの出版者と結びついた出版地を記録する。

本システムにおいては、2 番目以降の出版地、出版者等は、NOTE フィールドにではなく PUB フィールドに、記述文法に従って複数記録することができる。ただし、2 番目以降の出版地、出版者等の入力レベルは「選択」である。

PUB:京都 ; 東京 : 三一書房 , 1949.5

PUB:名古屋 : 愛知県立大学 : 愛知県立女子短期大学 , 1990.2

### F1.5

出版地と出版者が組み合わせて複数表示されている場合や、出版地、出版者の他に頒布地、頒布者、製作地、製作者が表示されている場合において、2 番目以降の出版地等と出版者等を記録するときはフィールドを繰り返して記録し、一つの PUB フィールドにまとめたかたちでの記録はしない。

なお、2 番目以降の出版地等、出版者等の入力レベルは「選択」である。

複数の PUB フィールドが作成された場合、それぞれの出版表示・頒布表示等に対応した日付を、該当する PUB フィールドに記録する。役割が同一の PUB フィールドが複数ある場合は、その中の最後の出版者等に続けて記録する。

記録に際し、役割が出版以外のときは、役割表示コードを記入する。(→ 付録 1.6 出版等に関するコード表)

PUB:東京 : 東京朝日新聞社

PUB:大阪 : 大阪朝日新聞社 , 1931.1

PUB:Amsterdam : Elsevier

PUB:Tokyo : Kodansha , 1980

PUB:東京 : アジア図書館 , 1993.3 # 空値

PUB:東京 : アジアセンター21 # d

PUB:Copenhagen : Nordic Pharmacological Society , 1996 # 空値

PUB:Copenhagen : Munksgaard # d

(最初の PUB フィールドは出版表示、2 番目の PUB フィールドは頒布表示)



## F1.6

出版地等、出版者等が複数の言語あるいは文字で表示されている場合の記録については、本タイトルと同じ言語又は文字で表示されているものを記録し、この規定が適用できない場合は、最初に表示されているものを記録する。

## F1.7

出版地等が所定の情報源上に表示されていない場合は、他の参考資料を基に調査、あるいは推定し、角括弧([ ])に入れて記録する。具体的な情報が記録できない場合は、「[出版地不明]」「[Place of publication not identified]」、「[出版者不明]」「[publisher not identified]」と記録する。

PUB:[出版地不明]:[出版者不明],[19--]

PUB:[Place of publication not identified]:[publisher not identified],[19--]

## F1.8

資料自体に表示された地名、出版者の名称等が、架空であるか誤っていると判明している場合は、実際の地名、出版者の名称等を角がっこを使用して記録し、架空の地名または誤った地名等は、必要があれば注記として記録する。

## F1.9

和古書等、複数の出版物理単位から成る資料で、途中の巻冊次から出版表示等に変更が見られる場合、PUB フィールドには、該当する目録対象資料の最初に刊行された資料(又は入手可能なもののうちの最初に刊行された資料)の情報源上にある出版地等及び出版者等を記録する。変更後の出版地等及び出版者等については、NOTE フィールドに記録する。

VOL:巻之 1

VOL:巻之 2

VOL:巻之 3

VOL:巻之 4

VOL:巻之 5

PUB:東都:上総屋利兵衛 [ほか], 寛政 10 [1798]

NOTE:巻之 4 以降の出版者: 山田屋長兵衛

## F2 出版日付等

### F2.1

出版日付は、原則として、情報源に表示されている日付の年を記録する。

日付は、情報源に表示されている日付の暦が西暦の場合は、アラビア数字で記録する。情報源に表示されている日付の暦が西暦でない場合は、その日付を西暦に置き換える。漢数字、ローマ数字、語句で表記される数字等は、アラビア数字に置き換えて記録する。語句で表された暦は、アラビア数字に置き換える。

## F2.2

和古書等、複数の出版物理単位から成る資料の場合に、出版日付が 2 年以上にわたるときは、刊行開始年と刊行終了年をハイフン (-) で結んで記録する。刊行中のときは開始年を記録し、ハイフン (-) を続ける。出版日付が 1 年の中に収まる場合は、その年のみを記録する。

GMD:h SMD:b YEAR:1970 1986  
PUB:東京 : 野村総合研究所, 1970-1986  
TR:NRI マイクロ有証||NRI マイクロ ユウショウ  
ED:[マイクロフィルム版]  
PUB:東京 : 東京創元社 , 1990

## F2.3

単巻資料の出版日付・頒布日付等を特定できない場合は、推定の出版日付・頒布日付等を、NCR2018 #1.10.10.5 に従って記録する。

著作権日付から出版日付を推定した場合は、著作権日付に対応する 4 桁の西暦年のみを [ ] で囲んで記録する。著作権マークの「c」は記録しない。

[1975]  
[1975?]  
[1970 頃]  
[1970 年代]  
[2000 から 2009 の間]

出版日付を推定できない場合は、角がっこで、「出版日付不明」または「date of publication not identified」、「頒布日付不明」または「date of distribution not identified」と記録する。

## F2.4

資料自体に表示された日付が、架空であるか誤っていると判明している場合は、実際の日付を角がっこを使用して記録し、架空の日付または誤った日付は、必要があれば注記と

して記録する。

PUB:London : Macmillan , [1967]

NOTE:Date of publication on title page: 1697

## F2.5

出版日付・頒布日付等と著作権日付が異なる場合は、著作権日付を記録することができる。

著作権日付の記録に際しては、役割表示コード「c」を記入する。（→付録 1.6 出版等に関するコード表）

PUB:London : Penguin Books , 2018 # 空値

PUB:: , c2017 # c

### 2.2.3G〔フィールドの繰り返し〕

出版地、頒布地、製作地、制作地と出版者、頒布者、製作者、制作者がそれぞれ対となっている場合は、それぞれの対ごとにPUBフィールドを作る。その組合せが複数ある場合は、PUBフィールドを繰り返す。

記録に際し、役割が出版以外のときは、役割表示コードを記入する。（→付録 1.6 出版等に関するコード表）

### 2.2.3H（選択事項）

#### H1

出版日付、頒布日付等については、月まで記録することができる。この際、出版年、頒布年等の後にピリオドを付して記録する。出版日付が1年の中に収まる場合でも、月まで記録する場合には刊行開始年月と終了年月をハイフン（-）で結んで記録することができる。

PUB:東京 : 講談社 , 1990.1-1990.5

### 2.2.3I 《注意事項》

#### I1

一つのPUBフィールドに、出版地、頒布地等と出版者、頒布者等の対を繰り返して記録してはならない。繰り返し記録すると、「出版者;頒布地」の部分が一つの出版者とみなされて、2番目の出版地・頒布地に対する検索キーが正しく作成されない。

（誤）

PUB:東京 : 国立国会図書館 ; 東京 : 紀伊国屋書店(発売) , 1989

(正)

PUB:東京 : 国立国会図書館 , 1989 # 空値

PUB:東京 : 紀伊国屋書店 # d

## I2

記述の根拠とした出版物理単位の情報源に表示されていない出版に関する事項を記録してはならない。例として、次のものがある。

1) 和古書等、複数の出版物理単位から成る資料の場合、最初に刊行された資料(又は入手可能なもののうちの最初に刊行された資料)以外の巻次に表示されている異なる出版に関する事項

2) 同時に別の出版者から刊行された資料に表示されている出版に関する事項

1)については、NOTE フィールドに当該出版事項を記録する。(→ 2.2.7 NOTE)

PUB:福岡 : 福岡国税局総務部調査統計課 , 1971.6-

NOTE:昭和 59 年度以降の出版者: 福岡国税局総務部企画課

2)については、別書誌データを作成する。

## I3

例外として、マイクロ資料や西洋古典籍等、1 書誌データに複数の出版物理単位を記述することが許容されている資料がある。(→ 2.0.3 出版物理単位)

このような資料において刊行時期に違いのある複数の情報源がある場合、データ要素の情報源は、該当する目録対象資料の最初に刊行された資料(又は入手可能なもののうち最初に刊行された資料)の規定の情報源による。なお、最初に刊行された資料(又は入手可能なもののうち最初に刊行された資料)以外に表示されている異なる出版に関する事項については、NOTE フィールドにそれを記録する。(→ 2.2.7 NOTE)

## I4

製作等に関する事項を記録する場合は、新たに一つのフィールドに記録する。その際、製作等に関する事項であることを明示するため、役割表示コード「m」を記入する。(→ 付録 1.6 出版等に関するコード表)

PUB:大阪 : 大阪市 , 1991.3 # 空値

PUB:[大阪]:電通 # m

(電通が大阪市の依頼により製作した場合)

## I5

書写資料の場合は、PUB フィールドを1つだけ作り、制作に関する事項のみを記録する。その際、制作に関する事項であることを明示するため、役割表示コード「p」を記入する。(→付録 1.6 出版等に関するコード表)

PUB:京城:小倉進平 [写], 1935.10 # p

### 〔関連項目〕

2.1.5 YEAR

2.2.7 NOTE

## 2.2.4 PHYS

### 2.2.4A 〔形式〕

PHYS	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) 形態に関する事項	必須 2			1
数量	(必須 2)	(可変長)	(254 バイト)	無
その他の形態的細目	(選択)	(可変長)	(254 バイト)	無
大きさ	(必須 2)	(可変長)	(254 バイト)	無
付属資料	(選択)	(可変長)	(254 バイト)	無

### 2.2.4B 〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.1 図書書誌データの記述文法」を参照のこと。

### 2.2.4C 〔区切り記号〕

- ア) その他の形態的細目の前に、スペース、コロン、スペース (△:△) を置く。
- イ) 大きさの前に、スペース、セミコロン、スペース (△;△) を置く。
- ウ) 付属資料の前に、スペース、プラス、スペース (△+△) を置く。
- エ) 付属資料の形態的細目を記録する場合は、スペース、丸括弧 (△()) で括る。

### 2.2.4D 〔フィールド内容とデータ要素〕

PHYS フィールドには、目録対象資料の数量(ページ数、図版数等)、その他の形態的細目(挿図、肖像、地図等)、大きさ、及び付属資料等の情報をデータ要素として記録する。

### 2.2.4E 〔データ要素の情報源〕

PHYS フィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物全体とする。

### 2.2.4F 〔データ記入及び記入例〕

#### F1 (データ記入の原則)

キャリア種別ごとに形態的表示は異なる。目録規則の当該個所を参照して記録する。

#### F2 (数量)

##### F2.1

冊子 1 冊の資料は、キャリアの種類を示す用語および冊数は記録せず、表示されたページ付の最終数に、「p」、「丁」、「枚」、「欄」の語を付加して記録する。

語句を用いたページ付、あるいはアラビア数字以外の数字を用いたページ付けの場合は、アラビア数字に置き換えて記録する。ただし、ローマ数字は、表示されている通りに記録す

る。

238p

xcvii pages

30 pages (「thirty pages」とはしない。)

105p (「一〇五 p」とはしない。)

数字ではなく文字等を用いたページ付の場合は、先頭と最終の文字等を記録する。

A-Z pages

## F2.2

ページ付のない資料は、次のいずれかの方法で記録する。

ア) 全体のページ数等を数え、そのページ数等の後に「ページ付なし」等を丸がっこに入れて付加する。目録用言語として英語を用いる場合は、「unnumbered」の語を用いる。ページ数等を数える場合、広告など内容にかかわらないものは含めない。

94p (ページ付なし)

94 unnumbered pages

イ) ページ数等の概数を記録する。

約 300p

approximately 300 pages

ウ) 「1 冊」と記録し、「ページ付なし」等を丸がっこに入れて付加する。目録用言語として英語を用いる場合は、「1 volume (unpaged)」と記録する。

1 冊 (ページ付なし)

1 冊 (丁付なし)

1 volume (unpaged)

## F2.3

ページ付が複数に分かれた資料は、ページ付ごとにコンマで区切って記録する。ページ付のない部分が含まれている場合に、その部分が重要であるとき、または注記で言及されているページ付が含まれているときは、ページ数等を数え「ページ付なし」等を丸がっこに入れて付加する。

22, 457, 64p

xvii, 530 pages

30p, 120 枚

#### F2.4

冊子の最終部分が欠落していて、全体のページ数等が確認できない場合は、確認できるページ付の最終数を記録し、欠落に関する詳細は NOTE フィールドに記録を行う。

冊子の最初と最後のページ付が部分的に欠落していると思われる場合に、全体のページ数等が確認できないときは、その最初と最後のページ付をハイフンで結んで記録し、その旨を注記として記録する。

p9-160  
leaves 81-149

#### F2.5

全体が一連のページ付となっているセットの 1 冊や抜刷などのように、包括的な一連のページ付の途中から始まっているページ付は、その最初と最後のページ付をハイフンで結んで記録する。

p362-734  
pages 362-734

全体の一部が記述対象である場合に、その部分自体のページ付と全体のページ付の双方があるときは、部分のページ付を記録する。必要に応じて、全体のページ付を注記として記録する。

#### F2.6

ページ付のある図版は、本文のページ付に続けて「図版」の語を用いて、F2.1 に従って、その最終ページ数等を記録する。

246p, 図版 32p  
xiv, 145p, 図版 10 枚, 図版 xiiip

数字ではなく文字等を用いたページ付の場合は、「図版」の語を用いて先頭と最終の文字等を記録する。

語を用いたページ付の場合は、「図版」または「plates」の語を用いて、F2.1 に従って記録する。



ページ付のない図版が資料の大部分を占める場合、注記で言及されている図版にページ付がない場合、または識別または選択に重要な場合は、「図版」の語を用いて、図版のページ数等を記録し、「ページ付なし」等を丸がっこに入れて付加する。目録用言語として英語を用いる場合は、「unnumbered」および「plates」の語を用いる。

10p (ページ付なし), 図版 16p (ページ付なし)  
xvi, 249p, 図版 12 枚 (ページ付なし)  
10 unnumbered pages, 16 unnumbered pages of plates  
xvi, 249 pages, 12 unnumbered leaves of plates

正確な数が容易に判明しない場合は、概数を記録する。

## F2.7

紙葉が折り込まれている場合は、「折り込み」を丸がっこに入れて付加する。目録用言語として英語を用いる場合は、「folded」の語を用いる。

96 枚 (折り込み)  
150p, 図版 30 枚 (一部折り込み)  
96 folded leaves  
150 pages, 30 leaves of plates (some folded)

## F2.8

シートまたはカードから成る資料は、キャリアの種類を示す用語とともに枚数を記録する。

シート 1 枚  
シート 5 枚  
カード 10 枚

折りたたんだ状態でページ順に読むことが想定されている 1 枚のシート (例えば、折本) は、枚数を記録し、「折りたたみ」を丸がっこに入れて付加する。ただし、この種の資料は、冊子として扱うことがある。

シート 1 枚 (折りたたみ)  
シート 1 枚 (折りたたみ 8p)

### F3 (その他の形態的細目)

#### F3.1

その他の形態的細目には、必要に応じて、図や色彩についての情報をデータ要素として記録することができる。

マイクロ形態の極性等、NCR2018 #5.15 図、#5.17 色彩以外のエレメントについては、その他の形態的細目への記録は行わない。必要に応じて、NOTE フィールドに記録を行うことができる。

(極性がある場合の記録例)

NOTE:Polarity: positive

#### F3.2

図は、包括的な用語「挿図」または「illustration」を記録するか、その代わりに、またはこれに付加して、NCR2018 表 5.15.0.2 の用語を用いて図の種類を記録する。目録用言語として英語を用いる場合は、必要に応じて複数形を用いる。

挿図, 肖像, 地図

illustrations, facsimiles, map

#### F3.3

識別または選択に重要な場合は、NCR2018 #5.17.0.3 の用語を用いて、色彩に関する詳細を記録することができる。

肖像 (一部カラー), 地図 (グレー・スケール)

illustrations (some color)

### F4 (大きさ)

#### F4.1

大きさには、キャリアまたは容器の外側の寸法を、別途指示のない限り、センチメートルの単位で小数点以下の端数を切り上げて記録する。キャリアを計測する箇所は、キャリア種別ごとに定めた NCR2018 #2.18.0.2.1A~#2.18.0.2.1O に従う。

#### F4.2

冊子は、外形の高さを記録する。外形の高さが 10cm 未満のものは、センチメートルの単位で小数点以下 1 桁まで端数を切り上げて記録する。縦長本、横長本、柙型本は、縦、

横の長さを「×」で結んで記録する。

22 cm

8.7cm

21×9cm

15 × 25 cm

15×15cm

テキスト・ブロック（冊子の表紙・背などの外装を除いた本体部分）の大きさと製本状態の大きさに無視できない違いがある場合に、識別または選択に重要なときは、テキスト・ブロックの大きさを記録し、製本状態の大きさを丸がっこに入れて付加する。目録用言語として英語を用いる場合は、「in」の語に続けて製本状態の大きさを付加する。

20cm (製本 25cm)

20 cm in binding 25 cm

テキスト・ブロックの大きさが異なるものを合冊している場合は、製本状態の大きさのみを記録する。識別または選択に重要な場合は、テキスト・ブロックの大きさについて注記として記録する。

#### F4.3

シートは、本体の縦、横の長さを「×」で結んで記録する。

20 × 25 cm

畳ものは広げた形の縦、横の長さを「×」で結んで記録し、折りたたんだときの外形の縦、横の長さを付加する。

48×30cm (折りたたみ 24×15cm)

48 × 30 cm folded to 24 × 15 cm

折りたたんだ状態でページ順に読むことが想定されている1枚のシート（例えば、折本）は、縦の長さを記録する。ただし、この種の資料は、冊子として扱うことがある。

#### F4.4

多巻物で例外的にVOLグループの繰り返しの記述を行う資料で、図書の高さが異なって

いる場合の記録については、最も小さいものと最も大きいものの大きさを、ハイフンで結んで記録する。

#### **F5 (付属資料)**

ある資料と同時に刊行され、同時に使用するようになっている付属的な資料について記録する。(→ 2.0.5 付属資料)

PHYS:104p ; 21cm + コンピュータ・ディスク 5 枚

PHYS:482 pages : illustrations ; 24 cm + 5 slides

付属資料は NOTE フィールドに記録することもできる。

NOTE:1 computer disk in pocket (3.5 inch)

#### **〔関連項目〕**

2.1.4 SMD

2.1.11 VOL

2.2.7 NOTE

## 2.2.5 VT

### 2.2.5A 〔形式〕

VT	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) その他のタイトル	選択	可変長		16
タイトルの種類	(必須 1)	(固定長)	(2 バイト)	(1)
タイトル	(必須 1)	(可変長)	(1024 バイト)	(1)
タイトルのヨミ *	(必須 2)	(可変長)	(1024 バイト)	(1)
タイトルのその他の ヨミ	(必須 2)	(可変長)	(1024 バイト)	(2)

\*タイトルのヨミは、和資料および洋資料でタイトル中に日本語が現れた場合などに記録する。

### 2.2.5B 〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.1 図書書誌データの記述文法」を参照のこと。

### 2.2.5C 〔区切り記号〕

ア) タイトルの種類コードと、タイトルの間に、コロン (:) を置く。

イ) タイトルのヨミを記録する場合は、ヨミの直前に、ストローク、ストローク (||) を置く。

ウ) タイトル関連情報等や、その他のヨミを伴う場合は、TR フィールドの記述文法に準じて展開する。

### 2.2.5D 〔フィールド内容とデータ要素〕

#### D1

VT フィールドには、TR フィールド(又は PTBL フィールドの中位の書誌単位のタイトル)に記録するタイトル以外の「その他のタイトル」を記録する。(→ 付録 1.4 タイトルの種類コード表)

その他のタイトルに該当するのは、次のタイトルである。

- 1) キー・タイトル及び略タイトル
- 2) 目録対象資料中に表示されているタイトルのうち、TR フィールド(又は PTBL フィールドの中位の書誌単位のタイトル)に記録されない形
- 3) 発見・識別に必要な場合に目録担当者が作成するタイトル

VTは、目録対象資料の「その他のタイトル」による検索等を可能にするために設けられたフィールドである。

## D2

VTフィールドのデータ要素は、タイトルの種類、タイトル、タイトルのヨミ及びタイトルのその他のヨミである。

タイトルの種類には、タイトルの情報源、タイトルの種類等をコード化して記録する。

タイトルには、当該タイトルを記録する。

タイトルのヨミは、和資料および洋資料でタイトル中に日本語が現れた場合などに記録する。

ただし、タイトルのその他のヨミについては、本項では取り扱わない。関連する各コーディングマニュアル等を参照のこと。

### 2.2.5E〔データ要素の情報源〕

どこからでもよい。

### 2.2.5F〔データ記入及び記入例〕

タイトルの種類には、タイトルの情報源、タイトルの種類等を示す2桁のコードを記入する。(→付録1.4 タイトルの種類コード表)

その他のタイトルが単数の場合

TR:大学への期待：日本教育の課題 / 木田宏著||ダイガク エノ キタイ：ニホン キョウイク ノ カダイ

VT:CV:Japan's higher education for the 21st century

TR:直観力をつける本 / 保坂栄之介著||チョッカソリョク オ ツケル ホン

VT:OR:20倍の直観力をつける法||20 バイ ノ チョッカソリョク オ ツケル ホウ

NOTE:「20倍の直観力をつける法」(日新報道, 1982)の改題増補

TR:Women in love / D.H. Lawrence ; edited by David Farmer

VT:ST:The works of D.H. Lawrence

TR:The sea of fertility / Yukio Mishima ; translated by A. May

VT:OR:豊饒の海||ホウジョウ ノ ウミ

その他のタイトルが複数の場合

TR:牧野新日本植物圖鑑 / 牧野富太郎著||マキノ シンニホン ショクブツ ズカン

VT:VT:新日本植物圖鑑||シンニホン ショクブツ ズカン

VT:VT:牧野新日本植物図鑑||マキノ シンニホン ショクブツ ズカン

TR:メイシーのアド・ワーク / M.L.ローゼンブラム著 ; 武田広治訳||メイシー ノ アド・ワーク

VT:ST:Macy's ad work

VT:OR:How to design effective store advertising

### 2.2.5G 〔フィールドの繰り返し〕

その他のタイトルが複数ある場合は、VT フィールドをその数だけ繰り返し、それぞれのタイトルを記入する。

### 2.2.5H 《注意事項》

#### H1

目録対象資料のタイトルにかかわる注記のうち、タイトル(及び当該タイトルの情報源)以外の情報は、NOTE フィールドに記録する。

#### H2

1つのVT フィールドに複数のタイトルを記録してはならない。

#### 〔関連項目〕

2.2.1 TR

2.2.7 NOTE

2.3.1 PTBL

## 2.2.6 CW

### 2.2.6 A 〔形式〕

CW	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
(Group Field) 内容著作注記	選択	可変長		128
巻冊次又は章番号等	(選択)	(可変長)	(1024 バイト)	(1)
下位書誌レベルのタイトル又は 章タイトル等	(必須 1)			
責任表示	(選択)	(可変長)	(256 バイト)	(1)
下位書誌レベルのタイトル又は 章タイトル等のヨミ *	(選択)	(可変長)	(256 バイト)	(1)
下位書誌レベルのタイトル又は 章タイトル等のその他のヨミ	(選択)	(可変長)	(256 バイト)	(2)

\*タイトルのヨミは、和資料および洋資料でタイトル中に日本語が現れた場合などに記録する。

### 2.2.6B 〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.1 図書書誌データの記述文法」を参照のこと。  
ただし、CW フィールドについては、必ずしも記述文法に従わなくてもよい。

### 2.2.6C 〔区切り記号〕

ア) 巻次等の直後に、和図書書誌データにおいては、コロン、スペース (: △) を置き、洋図書書誌データにおいては、ピリオド、スペース (. △) を置く。

イ) タイトル関連情報等や、その他のヨミを伴う場合は、TR フィールドの記述文法に準じて展開する。

### 2.2.6D 〔フィールド内容とデータ要素〕

#### D1

CW フィールドには、構成部分である下位書誌レベルについて、巻冊次、タイトル、責任表示、タイトルのヨミ及びタイトルのその他のヨミをデータ要素として記録する。

#### D2

巻冊次には、出版物理単位の呼称を記録する。

タイトルには、構成部分である下位書誌レベルのタイトルを記録する。

責任表示には、当該タイトルにかかわる責任表示を記録する。

タイトルのヨミは、和資料および洋資料でタイトル中に日本語が現れた場合などに記録



する。

ただし、タイトルのその他のヨミについては、本項では取り扱わない。関連する各コーディングマニュアル等を参照のこと。

### D3

CW フィールドには、目次情報を記録することができる。

### 2.2.6E [データ記入及び記入例]

#### E1

巻冊次は、当該巻冊次に対応する最初の下位書誌レベルを記録するフィールドの先頭に記入する。

このとき、VOL フィールドに記録した巻冊次の名称を、CW フィールドに記入する。

責任表示がない場合

VOL:1

TR:詩歌ノート / 北原白秋著||シイカ ノート

PHYS:200p ; 21cm

CW:1: 邪宗門ノート||ジャシュウモン ノート

CW:思ひ出ノート||オモイデ ノート

VOL:v. 1 ISBN: PRICE:

TR:Selected works of Ramon Llull (1232-1316) / edited and translated by Anthony Bonner

CW:v. 1. The book of the Gentile and the three wise men brevis

CW:Ars demonstrativa

CW:Ars brevis

責任表示がある場合

VOL:1

TR:印度の仏教 / 中村元 [ほか] 編||インド ノ ブッキョウ

PHYS:429p ; 22cm

CW:1: 原始仏教思想論 / 木村泰賢著||ゲンシ ブッキョウ シソウロン

CW:根本仏教 / 柿崎正治著||コンボン ブッキョウ

#### E2

タイトル関連情報、並列タイトル、並列責任表示を伴う場合は、タイトルと並列タイトル、責任表示と並列責任表示とをそれぞれひとまとまりとし、間にスラッシュ（ / ）を記録する。タイトルと並列タイトル、責任表示と並列責任表示との間には、イコール（ = ）を記録する。

TR:技術・魔術・科学 / 坂本賢三 [ほか] 著||ギジュツ・マジユツ・カガク

PHYS:375p ; 22cm

CW:人間と技術 : 技術の発生と展開 / 坂本賢三著||ニンゲン ト ギジュツ : ギジュツ ノ ハッセイ ト テンカイ

CW:技術概念の成立 / 森俊洋著||ギジュツ ガイネン ノ セイリツ

CW:呪術・魔術の伝統 : プラトンの魔術 / 大沼忠弘著||ジュジュツ・マジユツ ノ デントウ : プラトン ノ マジユツ

CW:ヘルメス思想の源流 : 「アスクレピオス」の自然哲学とその周辺 / 柴田有著||ヘルメス シソウ ノ ゲンリユウ : 「アスクレピオス」 ノ シゼン テツガクト ソノ シュウヘン

CW:憂国 = Patriotism / 三島由紀夫 [著] = Yukio Mishima||ユウコク = Patriotism

### E3

2 番目以降の責任表示を伴う場合は、TR フィールドの記述文法に準じて展開する。(→ 2.2.1 TR)

TR:スイス十九世紀短篇集 / スイス文学研究会編||スイス ジュウキュウセイキ タンペン シュウ

PHYS:343p ; 20cm

CW:奇妙な下女エルジー / J.ゴットヘルプ著 ; 田中泰三訳||キミョウナ ゲジョ エルジー

CW:ハートラウプ / G.ケラー著 ; 石井不二雄訳||ハートラウプ

CW:ペスカラの誘惑 / C.F.マイヤー著 ; 堀内明訳||ペスカラ ノ ユウワク

CW:犬と猫 / C.シュピッテラー著 ; 増田義男訳||イヌ ト ネコ

### 2.2.6F [フィールドの繰り返し]

下位書誌レベルが複数ある場合や、目次の章が複数ある場合は、CW フィールドをその数だけ繰り返し、それぞれのタイトル、責任表示、及びタイトルのヨミ等を記入する。

### 2.2.6G 《注意事項》

#### G1

内容に関する注記事項のうち、目次情報は CW フィールドに記録することができる。

それ以外で、下位書誌レベルのタイトル、責任表示に該当しないか、あるいは検索の必要がないものは NOTE フィールドに記録する。(→ 2.2.7 NOTE)

このようなものとして、次の例が考えられる。

- 1) 付加的内容（書誌、年譜、年表及び付録、解説等）
- 2) 内容の要約（目録対象資料の解題・要旨等）
- 3) 対象利用者
- 4) 部編名に該当する名称を持つ構成部分、VOL フィールドに記録されなかった部編名等

(例)

NOTE:参考文献: p125-131

NOTE:フロイト年表・文献案内: p456-470

NOTE:Bibliography: pages 167-170

## G2

1つの CW フィールドに複数の下位書誌レベルのタイトル、責任表示、及びタイトルのヨミを記入してはならない。

次のようなデータ記入は誤りである。

(誤)

CW:耕地整理講義 / 上野栄三郎著 . 経済側の耕地整理 / 横井時敬著||コウチ セイリ コウギ . ケイザイガワ ノ コウチ セイリ

(誤)

CW:The assembly / Mavis Dillon . The winter father / Andre Dubus

## G3

CW フィールドには、責任表示のヨミを記入してはならない。

次のようなデータ記入は誤りである。

(誤) CW:耕地整理講義 / 上野栄三郎著||コウチ セイリ コウギ / ウエノ エイザブロウ

## G4

外部機関作成書誌データと同定される書誌データが総合目録データベースにある場合、外部機関作成書誌データを元にしたシステム追記 (→「目録情報の基準 第6版」4.7.1)が行われることがある。

CW フィールドについては、同定される書誌データに CW フィールドが無い場合に限り、システム追記を行う。

〔関連項目〕

2.0.1 固有のタイトル

2.0.2 書誌構造

2.2.7 NOTE

2.3.2 AL

2.3.3 UTL

## 2.2.7 NOTE

### 2.2.7 A〔形式〕

NOTE	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
注記		可変長		16
表現種別・機器種別・キャリア種別に関する注記	必須 1	可変長	1024 バイト	
その他の注記	選択	可変長	1024 バイト	

### 2.2.7 B〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.1 図書書誌データの記述文法」を参照のこと。

### 2.2.7C〔区切り記号〕

ア) 一つの NOTE フィールド中に複数のデータ要素を記録する必要がある場合は、各注記の前にピリオド、スペース、ハイフン、ハイフン、スペース (.△--△) を置く。

イ) 注記の導入語句と注記本体の間に、コロン、スペース (:△) を置く。

### 2.2.7D〔フィールド内容とデータ要素〕

NOTE フィールドには、目録対象資料に関する注記をデータ要素として記録する。記録されるデータ要素には次のものがある。

ア) 他のどのフィールドにも記録できないが、記録しておくことが望ましいと目録作成機関が判断した事項

イ) 他のフィールドに記録した事項で、更に補足・説明を加えることが望ましいと目録作成機関が判断した事項

ただし、ある特定の機関のみが所蔵している資料に固有の事項、特定の刷に固有の事項については、このフィールドに記録してはならない。必要に応じて、所蔵データの CPYNT フィールドや LDF フィールドに記録する。

### 2.2.7E〔データ要素の情報源〕

NOTE フィールドのデータ要素の情報源は、当該出版物を含むあらゆるところから採用できる。

ただし、キャリアに関する情報については、資料自体に基づいて記録する。さらに必要がある場合は、資料外のどの情報源に基づいて記録してもよい。

### 2.2.7F〔データ記入及び記入例〕

#### F1 (データ記入の原則)

### F1.1 (定型注記)

NOTE フィールドに記録する注記には、導入語句を伴う定型注記と、それ以外の注記とがある。定型注記の場合は、導入語句と注記との間には、コロン、スペース(:△)を置く。

TR:辞林 21 / 三省堂編修所編||ジリン 21

NOTE:監修: 松村明, 佐和隆光, 養老孟司

TR:Scott Fitzgerald : a biography / Jeffrey Meyers

NOTE:Bibliography: pages [389]-393

### F1.2 (注記の順序)

NOTE フィールドに記録する注記には、本システムに特有なものと、NCR2018 で示されたものがある。複数の注記を記録する場合は、本システム特有の注記を最初の NOTE フィールドに記録する。それ以外の注記は、その後に、NCR2018 の属性のELEMENTに関する注記、属性のELEMENTを記録する注記、関連を記録する注記を章立ての順に従って記録する。ただし、ある特定の注記を最重要であると決めて、それを最初に記録してもよい。なお、本システム特有の注記が複数ある場合は、F2.1 で示されている順序に従う。

## F2 (本システム特有の取り扱いをするもの)

### F2.1

本システム特有の注記としては次に示すものがある。

#### ア) 表現種別・機器種別・キャリア種別についての注記

表現種別とは、表現形の内容を表現する基本的な形式を示す用語、機器種別とは、記述対象の内容を利用（表示、再生、実行など）するために必要な機器の種類を示す用語、キャリア種別とは、記述対象の内容を記録した媒体およびその形状を示す用語である。

これらは NCR2018 においてはそれぞれ独立したELEMENTであるが、本システムにおいては、表現種別・機器種別・キャリア種別の用語をひとつのNOTE フィールドにともに記録する。

用語は、それぞれ NCR2018 表 5.1.3 表現種別の用語、表 2.15.0.2 機器種別の用語、表 2.16.0.2 キャリア種別の用語 から選択する。目録用言語として英語を用いる場合は、表中の英語の用語を用いる。

記録に際しては、表現種別の用語に続けて「△(ncrcontent)」、機器種別の用語に続けて「△(ncrmedia)」、キャリア種別の用語に続けて「△(ncrcarrier)」の語を付加する。

NOTE:表現種別: テキスト (ncrcontent), 機器種別: 機器不用 (ncrmedia), キャリア種別: 冊

子 (ncrcarrier)

NOTE:Content Type: text (ncrcontent), Media Type: unmediated (ncrmedia), Carrier Type: volume (ncrcarrier)

イ) 記述の基盤についての注記

初刷以外によって書誌データを作成した場合に、記述の基盤とした刷について必要に応じて注記する。

NOTE:記述は第2刷(2000.3)による

NOTE:Description based on 1965 printing

NOTE:Description based on 2nd printing, 1971

ただし、初刷に基づいて書誌データを修正したとき、または基盤とした刷が初刷と同一であると確認できたときは削除する。

ウ) 中位の集合書誌単位に対応する版表示

エ) 類似書誌データとの相違に関する注記

NOTE:出版者の相違による別書誌あり

NOTE:装丁と出版日付の相違による別書誌あり

NOTE:ページ数の相違による別書誌あり

NOTE:大きさの相違による別書誌あり

NOTE:シリーズの有無の相違による別書誌あり

NOTE:シリーズの相違による別書誌あり

NOTE:Differs from <BA60608191> in publication year

オ) 同一書誌データとして扱う資料間に見られる相違に関する注記

(1) 初刷のバリエーション

NOTE:奥付の出版日付が異なるものあり: 1975.3

NOTE:Some copies have different pagination: 687 pages

(2) 初刷以外の資料による情報

NOTE:第4刷では表紙タイトルの誤植修正済

NOTE:第5刷では標題紙の責任表示の誤植修正済

NOTE:第2刷の奥付に記載されている初版第1刷の出版日付: 1989.12

NOTE:第12刷(以降)の出版者(名称変更): 河出書房新社

NOTE:第8刷のページ数: vii, 522p

NOTE:Reprinted with corrections, 1961

## F2.2

NCR2018 で示されているもののうち、次のものについては、NCR とは別の取扱いをする。

ア) 異形タイトルについて、検索上有益なものは、VT フィールドに適切なコードを付して記録する。なお、「OH」を付して記録した場合は、必ず情報源を注記する。

イ) 下位書誌レベルのタイトル及び責任表示に該当するものについては、CW フィールドに記録する。

## F3 (属性のエレメントに関する注記)

### F3.1 (タイトルに関する注記)

ア) 本タイトルを優先情報源以外から採用した場合は、その情報源を記録する。

NOTE:本タイトルは付属解説書のタイトル・ページによる

NOTE:本タイトルは『国立国会図書館支部上野図書館所蔵本草関係図書目録』による

また、データ作成者が本タイトルを付与した場合は、その旨を記録する。

NOTE:本タイトルはデータ作成機関による

本タイトルを優先情報源から採用した場合でも、必要に応じてその情報源を記録する。

NOTE:本タイトルは奥付による

NOTE:本タイトルは箱による

NOTE:Caption title

イ) 誤記、誤植、脱字などを正しい形に改めてタイトルのエレメントとして記録した場合は、採用した情報源に表示されている形を異形タイトルとして記録した上、注記する。

TR:故事[熟]語ことわざ新解

VT:TT:故事塾語ことわざ新解

NOTE:タイトル・ページのタイトル(誤植): 故事塾語ことわざ新解

ウ) 総合タイトルのない資料のすべての個別のタイトルに共通するタイトル関連情報がある場合は、その旨を記録する。



NOTE:すべてのタイトルに共通するタイトル関連情報: 現代語訳

すべてではないが、複数の個別のタイトルに共通するタイトル関連情報がある場合は、その旨を記録する。

NOTE:歎異抄から正法眼蔵までに共通するタイトル関連情報: 注釈付

エ) その他のタイトルのうち、タイトルの種類コード「OH」とともに記録したものについては、その表示箇所を注記する。

### F3.2 (版表示に関する注記)

ア) 優先情報源以外の情報源から補記した版表示について、必要に応じて、その情報源を記録する。

イ) 識別またはアクセスに重要な場合は、版表示の要素として記録しなかった、版表示に関するその他の詳細な情報を記録する。

ED:改訂第 32 版

NOTE:奥付の版表示 (誤植): 改訂第 31 版

ED:2015 年版

NOTE:奥付の版表示: 第 3 版

NOTE:Edition statement from cover. Title page erroneously states 2010 edition

### F3.3 (出版表示等に関する注記)

ア) 優先情報源以外の情報源から補記した出版表示・頒布表示・製作表示・制作表示について、必要に応じて、その情報源を記録する。

NOTE:出版日付は出版者のホームページによる

イ) 資料に表示された出版地、出版者の名称等が架空であるか誤っていると判明し、実際の情報を出版表示等の要素として記録した場合は、架空のまたは誤った出版地、出版者の名称等を記録する。

NOTE:タイトル・ページの出版日付 (誤植): 1936

(出版日付: [1963])

ウ) 著作権日付の要素として記録しなかった、著作権日付に関する詳細な情報を記録する。

NOTE:英語版: c2005

(著作権の日付は copyright ©2005.と図書に表示)

#### F4 (属性の要素を記録する注記)

基底材、制作手段など、NCR2018 の属性の要素を記録する注記は、要素名を導入語句とし、定められた用語をコロン、スペースを置いて記述する。

NOTE:制作手段: 青焼き

NOTE:Polarity: negative

#### F5 (関連を記録する注記)

関連とは、資料、個人・家族・団体、主題の間に存在する様々な関係性のことである。

表現形データの NOTE フィールドには、NCR2018 #43 (資料に関するその他の関連)のうち、他のフィールドに記録できない関連の情報について、必要に応じて、構造記述または非構造記述の形式で記録することができる。

##### ア) 著作間の関連

著作間の関連については、原則的に著作データに記録するが、著作データが作成されない場合、必要に応じて、関連先となる著作を識別できる情報を表現形のデータに記録することができる。

NOTE:Dramatization of (work): Cry, the beloved country : a story of comfort in desolation / by Alan Paton

(関連元: Anderson, Maxwell, 1888-1959. Lost in the stars : the dramatization of Alan Paton's novel : Cry, the beloved country)

NOTE:「新選組史料集」(新人物往来社 1993 年刊)と「新選組史料集 続」(新人物往来社 2006 年刊)の改題・合本・加筆・再編集

(関連元: 新選組史料大全)

##### イ) 表現形間の関連

表現形間の関連については、表現形単位のデータを作成しないため、必要に応じて、関連先となる表現形を識別できる情報を表現形のデータに記録することができる。

表現形と別の著作との関連は、著作間の関連として扱う。

NOTE:翻訳の対象: Returns : becoming indigenous in the twenty-first century / James Clifford. -- Cambridge, Massachusetts : Harvard University Press, 2013

(関連元: リターンズ : 二十一世紀に先住民になること / ジェイムズ・クリフォード [著]; 星埜守之訳. -- 東京 : みすず書房, 2020.12)

NOTE:平凡社 1996 年刊の増補改訂版

(関連元: 映画ジャンル論 : ハリウッド映画史の多様な芸術主義 / 加藤幹郎著. -- 東京 : 文遊社, 2016.3)

ウ) 体現形間の関連

他のフィールドに記録されない体現形間の関連について、必要に応じて、関連先となる体現形を識別できる情報を記録することができる。

体現形と別の体現形の個別資料との関連は、個別資料間の関連として扱う。

NOTE:Also issued as: Independence lost : lives on the edge of the American revolution / Kathleen DuVal. -- New York : Random House, [2015]

(関連元 : Independence lost : lives on the edge of the American revolution / Kathleen DuVal. -- New York : Random House, 2016. -- (Random House trade paperbacks))

NOTE:「もう一度学びたいギリシア神話」(西東社 2007 年刊)の普及版

(関連元: 図解ギリシア神話 / 松村一男監修. -- 東京 : 西東社, 2011)

## 2.2.7G [フィールドの繰り返し]

本マニュアル及び NCR2018 に定める注記(の種類)ごとに NOTE フィールドを繰り返して記録する。

ただし、フィールドの繰り返し制限を超えてしまう場合は、同種の注記をグループ化し、一つの NOTE フィールドの中に記録することができる。

### [関連項目]

2.1.11 VOL

2.2.1 TR

2.2.5 VT

2.2.6 CW

## 2.2.8 IDENT

### 2.2.8 A 〔形式〕

IDENT	入力レベル	属性	フィールド長	繰り返し数
アクセス先に関する事項	選択	可変長	1024 バイト	16

### 2.2.8 B 〔記述文法〕

記述文法については、「付録 6.1 図書書誌データの記述文法」を参照のこと。

### 2.2.8C 〔フィールド内容とデータ要素〕

IDENT フィールドには、アクセス先の URL などに関する事項を記録する。

### 2.2.8D 〔データ記入及び記入例〕

アクセス先の URL などに関する事項を記録する。

IDENT:<https://search.ebscohost.com/login.aspx/AN=370520>

IDENT:<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/BookDetail/3000007356>

IDENT:<http://springerlink.com/content/j3t4g388634h/>

IDENT:DOI:10.1039/9781847558152

### 2.2.8E 《注意事項》

IDENT フィールドにアクセス先の URL を記入することができるのは、GMD が w (機械可読データファイル)、SMD が r (リモートファイル) の場合のみである。